



《樹》1965年 平塚市美術館蔵

# 高良眞木

## まなざしの奥に

Maki Kora | Gaze into the essence of life

2024年9月27日(金) - 12月16日(月)

前期 | 9月27日(金) - 11月5日(火)

後期 | 11月7日(木) - 12月16日(月)

\*作品保護のため、前期と後期で一部展示替えがあります

開館時間 | 9:00~16:30(入館は16:00まで)

休館日 | 水曜日、10月22日(祝)、11月26日(祝)

観覧料 | 一般600円 小・中学生300円

\*平松礼二館企画展・収蔵品展もご覧いただけます。

主催 | 町立湯河原美術館 特別協力 | 平塚市美術館 協力 | 高良留美子資料室、(一社) 真鶴森の家



町立湯河原美術館  
Yugawara Art Museum

〒259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上623-1  
Tel.0465-63-7788 [JR湯河原駅よりバスで12分]  
<https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/site/museum/>





# 高良眞木 まなざしの奥に

Maki Kora | Gaze into the essence of life

湯河原の隣町・真鶴で、人知れず絵を描いていた高良眞木（こうらまき 1930～2011）。社会運動家で童話作家の浜田糸衛（はまだいとえ 1907～2010）と共に暮らしながら、身のまわりの木や花、土地の風景や働く人々の姿を描きました。幼少期の自由学園での自由画教育や、アメリカとパリでの留学経験はあるものの、独学で絵とむきあってきた高良の作品は不思議な魅力をたたえています。対象にむけられた鋭い眼差しによって画面上に探りあてられた線や色彩は、迫真性を超えて存在感を放ち、観る者の心にせまってきます。

生涯孤高に絵を描き続けた高良の名は広く知られてはいませんが、その才能は美術批評家の瀧口修造、洲之内徹、画家の中川一政などに評価されています。日中友好と平和、フェミニズムの活動にも尽力した高良は、自らの眼と信念をもってこの世界をみつめ、自然と人々と社会との共生を目指して生きたひとりの画家でありました。

本展では平塚市美術館の特別協力により、同館所蔵の主要な高良作品を軸に、初公開となるスケッチや挿絵原画、下絵などもあわせて約120点を紹介します。



1 (風景・水田のある) 1983年 2 (蕙子十八才) 1971年 3 (ざくろ・五つ) 1978年 4 (むかしばら) 2001年 (前期展示) 5 (青年・キンセンカ) 1957年頃 6 (白木蓮) 1991年頃 (後期展示) \*すべて平塚市美術館蔵

## EVENT 1 講演会 「高良眞木の人と作品について」

10月6日◎ 13:30～15:00  
 講師 | 土方明司 (川崎市岡本太郎美術館長、武蔵野美術大学客員教授)  
 会場 | 美術館1Fロビー  
 定員 | 50名程度 (先着順・要申込) \*受付開始 (9/1～)  
 参加無料 (要観覧券)

## EVENT 2 担当学芸員による ギャラリートーク

10月20日◎・11月17日◎・12月15日◎  
 いずれも 10:30～ (40分程度)  
 会場 | 展示室3、4  
 申込不要、参加無料 (要観覧券)

## EVENT 3 スケッチワークショップ「感じてみる 描いてみる」

1日目 | 11月2日◎ 13:00～16:00 講師 | 大谷まや (画家)  
 会場 | 町立湯河原美術館 対象 | 中学生以上、2日間参加できる方  
 \*スケッチ初心者歓迎  
 2日目 | 11月3日◎ 9:00～15:00 定員 | 15名 (先着順・要申込) \*受付開始 (9/27～)  
 予備日: 11月4日◎◎ 参加費500円 (保険料、材料費)、1日目は要観覧券  
 会場: 真鶴森の家 (高良眞木旧宅庭) 画材はこちらで用意します。詳細はHPをご覧ください。

子ども向け鑑賞ガイドを用意しています。



〒259-0314 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上623-1

Tel.0465-63-7788

<https://www.town.yugawara.kanagawa.jp/site/museum/>



電車 | JR湯河原駅から「不動滝・奥湯河原」行きバスで約12分  
 「美術館前」下車すぐ、又はタクシー約8分

自動車 | 国道135号線「湯河原駅入口」交差点を入り、道なりに約10分  
 駐車場有 (美術館利用者は無料)

